



NPO通信



受講生の皆さんへ

かわさき市民アカデミー学長 太田 猛彦

このたび、尊敬する和田あき子前学長の跡を引き継いで、学長を務めることになりました。よろしくお願いたします。

1993年の秋、現川崎市生涯学習財団（当時は川崎市生涯学習推進事業団）によって開設された「かわさき市民アカデミー」は、その運営が2007年に設立された「NPO法人かわさき市民アカデミー」に徐々に移され、2011年からはほぼ完全に同NPO法人に引き継がれましたが、今年秋に設立20周年を迎えます。したがって今年には記念すべき年です。



この間、設立時に奔走された篠原一初代学長以下の行政関係者・研究者・市民の皆さん、NPO法人の立ち上げにはじまり現在では全国の市民大学の模範となるに至った素晴らしい運営組織・カリキュラムを築き上げた受講生有志・講師陣・行政関係者、さらには参加した全ての受講生の皆さんの努力に敬意を表します。また、かわさき市民アカデミーをここに至るまで育んだ川崎市の文化の高さと応援して下さった市民の皆さん、そして川崎市文化賞を受賞された和田あき子前学長に誇りを感じます。

かわさき市民アカデミーは20年目の今期も26講座・13ワークショップ・2短期集中講座・5地域協働講座のラインアップで延べ3200人を超える受講生が学び、集い、討論し、活動します。各講座・ワークショップの講師・コーディネーターの先生方は今期も充実した話題・内容を提供して下さいます。受講生の皆さん、ともに学び、仲間を作り、自己啓発に努め、成果を自己実現・地域社会活動などにつなげていきましょう。

また、かわさき市民アカデミーを適切な形で支援して下さい（公財）川崎市生涯学習財団の存在や支援して下さいる市民がいることも忘れないようにしましょう。私も強力な5人の副学長・講師の先生方とともに、これからもカリキュラムの充実・学習環境の向上に務めることを誓います。

【副学長紹介】

- | | | |
|-------------------|-----------|------------------|
| ◎柴田 鉄治 (しばた てつじ) | 科学ジャーナリスト | (科学コース) コーディネーター |
| ◎瀬戸岡 紘 (せとおか ひろし) | 駒澤大学教授 | (経済コース) コーディネーター |
| ◎鈴木 哲 (すずき さとし) | 日本大学教授 | (歴史コース) コーディネーター |
| ◎馬場 康雄 (ばば やすお) | 東京大学名誉教授 | |
| ◎村田 文夫 (むらた ふみお) | 日本考古学協会会員 | |

アカデミー開学20周年記念の年に当たっての新たな決意

アカデミー20周年記念事業実行委員会

かわさき市民アカデミーは、平成25年度で開学20周年を迎えます。このような事業で20年間継続し、しかもなお成長しつつある例は極めて稀であり、私たちはこのことを誇りに思い、その伝統を引き継ぎ、なお発展させる決意をしたいと思えます。

しかし、その歴史を振り返ると、決して平坦な道ではありませんでした。特に、今日につながる後半の10年間は苦難の年月でした。アカデミーは、これまで財政面で市の負担に大きく依存していましたので、市財政の悪化とともに市財政再建問題と絡んで、より効率的な運営体制の構築によるコスト削減を図っていくことが求められてきました。こうした状況の中で、新たな時代状況にふさわしいアカデミーの改革方策を検討するため、平成16年に「アカデミー改革協議会」が設置され、1年間10回に亘って一般市民、受講生、有識者、行政が一体となった話し合いが持たれました。

平成17年3月に市長に提出された改革協議会の報告書は、極めて厳しいものを受講生に求めている内容でしたが、アカデミーの市民参加、市民の自主運営はアカデミーの設立の原点でありましたので、これを担う母体として、川崎市生涯学習財団の協力のもとに、平成19年4月にNPO法人かわさき市民アカデミーを設立しました。NPO法人化により、講座運営も財務管理も全て受講生自身で行なうことにしました。懸命な広報活動、講師諸先生の素晴らしい講座設計等々により受講生の数は増加し、心配されたNPOの自主運営も達成されつつあります。

私たちは、受講生自身で理想的学習の場をつくることを歓迎し、なお、更なる改善を続けながら発展させたいと思えます。20周年の今年1年間を新たなアカデミーをつくる決意の年とし「**つなぐ ひろがる 学びの力**」というスローガンを掲げ、次の時代につなげる決意をしたいと考えます。



理 事 会 報 告

(詳細は議事録と資料をご覧ください。事務局に常備しています。)

「2012年度2月理事会」2013年2月22日(金) 15:00～

審議事項 : 8件 報告事項 : 22件

主な審議事項

- ① 新学長の推薦について
- ② 野外学習の再検討について
- ③ 会議の公開規程について
- ④ 第2次中期経営計画の作成について

主な報告事項

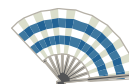
- ① 2013年度前期受講申込み状況について
- ② 20周年記念事業実行委員会の報告
- ③ 和田あき子先生の川崎市文化賞受賞を祝う会について
- ④ 受講生のつどいについて
- ⑤ 開講式について
- ⑥ 平成24年度アカデミー活動報告書の作成について



* NPO事務局からの
お知らせ *
今年度から新職員として
堀江 清美職員が加わりました。
よろしくお願ひ申し上げます。



受講生のつどい



3月8日（金）学長、コーディネータの先生、来賓として生涯学習財団理事長、副理事長をお迎えして「受講生のつどい」が開催されました。

今年は、2年毎の修了認定を行う年であり、つどいに先立ち修了証授与式が行われ、和田あき子学長から修了生一人一人に修了証と記念品が手渡されました。大勢の前で名前を呼ばれて、おもむろに証書を受け取るのは、運転免許証ぐらいしか知らない皆さんが大半だと思われていますが、そのためか程よい緊張感の中で証書と記念品を受け取っている姿が印象的でした。



式典が終われば、後はお楽しみの桂米多朗師匠による落語です。つどいに参加されていない方のために師匠の紹介をしておきます。川崎市多摩区在住で多摩区の初代観光大使を務めるなど、川崎市を愛するお師匠さんです。

江戸の町人と侍の時代物と現在をタイムスリップさせながら話をつなげていく軽妙な語り口で、参加者の皆さんは漸く引き込まれました。当初お願いした持ち時間は45分と短く師匠には申し訳ないと思っていたのですが、なんのことはない大幅にタイムスリップし、あとの時間のやり繰りを考えると冷や汗ものですが、それでもだいぶ得をした気分させていただきました。



途中参加された藤嶋理事長は、わざわざご自作の実験道具を持参いただき、「空は何故青いか」を言葉ではなく実験で見せていただきました。ご挨拶は楽しい話題でという実行委員会からの注文に応えていただきありがとうございました。

楽屋話をすれば受講生とコーディネーターの先生方との懇親の時間を確保するために、コーディネーターの先生は簡単な自己紹介だけというスケジュールを考えていたのですが、各先生方が楽しいお話をされるので、司会者と先生との阿吽の呼吸でこちらもタイムをスリップさせてしまいました。おかげで普段聞けない先生のお話が聞けて楽しかったと実行委員会は自画自賛しておりますが、先生と懇親を楽しみにしていた受講生の方はごめんなさい。

メインアトラクションが落語だけに、各所に落ちがあり、実行委員、或いは協力頂いた皆さんはだいぶ冷や汗をかいたのですが、多くの皆様のご協力で和やかなつどいとなったことを感謝いたします。桂米多朗師匠も最後まで参加して先生のお話を熱心に聞かれていたことを皆様にお伝えしておきたいと思います。



運営世話人募集中！！

かわさき市民アカデミーは「市民による市民のため」の運営を目指しています。運営世話人として講座のカリキュラム作成や講座運営に参加してください。詳しくは各講座の世話人にお尋ねください。

企画・運営委員会（第6回）報告

日時：2013年3月11日（月）17：30～19：17 場所：生涯学習プラザ201会議室

企画・運営委員会はアカデミーの複合講座（エクセレントⅠ、Ⅱ、Ⅲ、現代事情、短期集中講座）の企画・編成とカリキュラム全体の円滑な運営のための調整を行う機関です。学長、副学長、財団及びNPO委員で構成されています。

1. 主な報告事項

- ①2013年度前期受講申込み状況について
- ②2013年度学長の推薦について
- ③副学長の任命について

2. 主な協議事項

- ①2013年度後期エクセレントⅠ、Ⅱ、Ⅲ、現代事情、短期集中講座について
- ②2013年度後期のカリキュラム作成について
- ③ワークショップ関係者会議の開催について

2013年度後期開設予定の講座数、会場、日程、スケジュール等の確認を行いました。さらに複合講座のテーマ及びコーディネーターの検討を行い、コーディネーターを決定するとともに日程表の作成に着手しました。後期も興味深い講座内容になるよう努めてゆきます。

「アカデミー学習システム」について

充実したカリキュラム編成のため何をすべきかについて企画・運営委員会、NPO理事会、世話人代表を含めた委員会等で1年以上の検討を重ねた結果、「アカデミー学習システム」が作成され、企画・運営委員会で最終的に承認されました。実施は今年度の4月からです。内容は3つの部分から構成されています。

- 1) カリキュラム企画・編成委員、コーディネーター、世話人、担当理事のカリキュラム編成に際しての役割を再確認しました。
- 2) 謝金システムの明確化
学長・副学長の報酬を給料化し、カリキュラム編成だけでなく、アカデミー全般に関与していただくようにしました。またカリキュラム編成の際の謝金を統一的に規定しました。
- 3) 充実したカリキュラム編成の具体的な方策
コーディネーターと世話人有志、担当理事が話し合うことを促進してゆきます。そのための懇親会に出席するコーディネーターの費用負担の規定も作成しました。世話人有志や担当理事も講座・ワークショップのカリキュラムをコーディネーターとともに作ってゆくように協力しましょう。また、全体のカリキュラム内容の総合的な調整ができるように日程表の作成時期を早めました。詳細は事務局にそろえてありますので、関心のある方はぜひご覧になってください。

『編集後記』

今年は桜の開花は早かったにもかかわらず、開花後に花冷えとなり冬のような寒い日もあり不安定な春の訪れでした。そのような中、今年も無事に開講を迎えられました。今年「アカデミー開学20周年」です。
”これからのアカデミー”について色々考える1年になりそうです。

編集責任者：折居 晃一、田辺 初子、高橋 富夫、原 宏、西山 拓

NPO ホームページ <http://npoacademy.jp>

発行：NPO 法人かわさき市民アカデミー 広報部

連絡先 TEL：044-733-5590

メール：info@npoacademy.jp